

# あそびの発展

年齢別 (2歳児編)

## 2歳児のあそびの特徴

他人(ひと)がやるのを見て、真似してあそべるようになります。親子で、又はお友達と行動することで、どんどんあそびが広がっていきます。



さかあがりやとび箱とびなどに  
つながるあそびを年齢別に紹介します。  
普段の簡単なあそびが、  
何でもできる丈夫な身体を育てます。

### さかあがりにつながるあそび

子どものリズムを感じてあげよう

脇に力が入っていることがポイント

グルッと回ったら  
肩をひねらないように  
ゆっくり降ろして  
あげましょう。



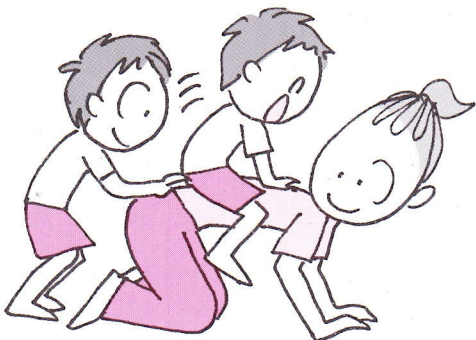
### なわとびにつながるあそび

ノリのいい曲で親子でダンスごっこを  
してみよう。まだリズムに合わせて  
できないけれど、リズムを体全体で  
感じることはとっても楽しいよ。



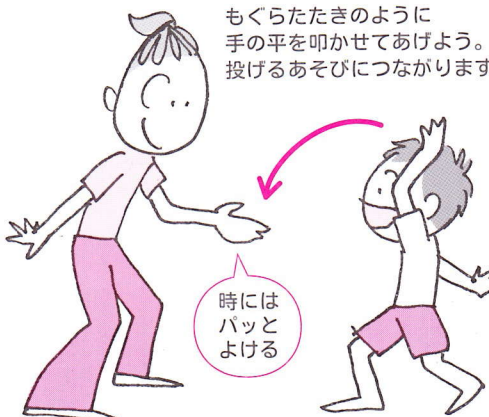
### とび箱につながるあそび

腕で支えて、自分の力で登らせよう。  
ピョンととび乗れるようになったらたいしたものだね。



### ボール投げにつながるあそび

もくらたたきのように  
手の平を叩かせてあげよう。  
投げるあそびにつながります。



### でんぐり返しにつながるあそび

お布団をふわふわに置いて、  
その上に回転させて  
ポイッと投げ降ろしてみよう。  
気持ちいいので何度も  
やりたがります。



### 足腰づくりにつながるあそび

3歳になったら少しずつジャンプのあそびをしてみよう。  
膝の使い方が、みるみる上手になっていきます。



個人差があるので、無理に  
やらせないように  
しましょう。

### 一言

体が軽いので、お母さんが高い高いしたり、だっこしたりするのが容易にできます。お母さんが体を使ってあそんであげられる、一番良い時期ではないでしょうか。